

合同会社 EMK**就労継続支援B型事業所「ふくろう」(北斗市)**

○基礎情報【経営形態：ハウスクリーニング等清掃作業、除雪、ウエス製作、農作業など】

【従業員：5名、事業所利用者：19名(知的障がい、精神障がいなど)】

**1 農福連携に取り組んだ経緯**

〈問い合わせ先〉ふくろう ☎ 0138-83-7860
 URL : <https://r.goope.jp/emk-fukuro/>

管理者は、小規模な施設で利用者と深く接したいとの考えから、令和2年3月に会社を設立。設立直後は清掃作業を主体としていたが、農業が盛んな地域ということもあり、施設外就労としての農作業を模索していた。

また、知人が農業と障がい者の仕事を結び付けたいとの考えで新規就農したことをきっかけに、農業普及センターや市役所農林課の協力のもと、農家に利用者の作業の様子を見学いただいたところ、「明日からうちに来てほしい」と話が進んだ。市役所農林課には、農家紹介のほか単価設定なども熱心に相談に乗っていただき、現在は長ネギ農家と花き農家の2件をメインに取り組んでいる。

2 取組内容

- (1) 就労形態：ハウスクリーニング、マンション共用部清掃、農作業、除雪など
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間(休憩)/稼働日：9:30～15:30(昼休憩1時間)
/月曜日～金曜日※土曜日、日曜日休み
- (4) 工賃：施設内 350 円/時間、施設外 700 円～/時間
- (5) 送迎：北斗市内のほか、函館市、七飯町へ送迎あり
- (6) 昼食 200 円～/食(希望者へ提供)

**3 取組の特徴**

- (1) 利用者の体調に合わせて、施設内作業か施設外作業を割り振り。主な作業として、施設内ではウエス製作やハウスクリーニングのパーツ洗浄を、施設外作業では12月から4月まではハウスクリーニングなどの清掃作業をメインに、5月から11月までは農業をメインに取り組んでいる。
- (2) 福祉施設での勤務経験がある従業員が引率し、利用者の体力やその日の体調・表情をみてケアできるよう配慮している。
- (3) 連携農家は、障がい者に対して理解があり、障がい者が対応可能な作業を用意してもらっている。
- (4) 利用者の頑張りに応えるため、安定して4時間作業ができる利用者の時給を高く設定している。

4 障がい者就労への考え方

- (1) 目標を持って作業することが大切なことから、一般就労を目指すよう利用者に話をしている。清掃作業では納期やクレームなどをプレッシャーに感じることもあるが、一般就労を見据えると、ストレス耐性を持つことも必要。
- (2) 利用者は農作業を楽しみながら取り組んでいる。太陽の下での作業は利用者の健康によいと感じる。
- (3) 作業マニュアルが有効な場合もあるが、文字が読めない利用者があるため、引率する職員と一緒に作業を行い利用者に体で覚えてもらうほうが効果的な場合がある。
- (4) 農家、利用者、従業員にコミュニケーションを大切にもらっており、良い関係が築けている。お互いに歩み寄り、信頼関係を構築できるとwin-winの関係になる。

5 今後の予定や将来展望

- (1) 利用者との関わりを大切にしたいことから、現在の事業所規模を維持していきたい。
- (2) 2件の農家における作業の完成度の向上やできる作業を増やしていきたい。利用者には、現在の工賃以上の作業をしてもらっていると認識。今後も工賃向上を目指したい。
- (3) 農作業の比率を高めていきたいが、雨天や冬期間など農作業ができないときのためにハウスクリーニング作業は必要。
- (4) 農作業のニーズはあると認識。近隣の福祉事業所との連携も高めたい。
- (5) 今後も利用者にとって居心地の良い事業所を目指していきたい。

